

令和2年度 第2回理事会報告

日 時：令和2年6月10日(水) 14:10
～17:50

場 所：JMSCA 会議室を中心に Web 会議

出席者：八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡(途中参加)、村上、山口、水村(途中参加)、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、安藤各理事

小日向理事(議案第1号時退出、特別利害関係者)

中島、古屋各監事

同席者：Field-R 法律事務所 杉山弁護士
ガバナンス委員会恒石委員長、和田委員

1. 開 会

Web 会議での理事会開催について会長挨拶があり、事務局長から理事 20 名(3 名途中から参加)、監事 2 名の出席が確認されてから、事務局長がホストを務めて議事に入った。

2. 議 題

(1) 議案第 1 号 CAS 提訴の現状について説明と質問

杉山弁護士よりこれまでの経過説明と今後の展開について説明。審問での権限授権について承認。

(2) 議案第 2 号 議事録の承認について
2020 年度第 1 回理事会議事録の承認について(事前送付済)

全員一致で承認された。

(3) 議案第 3 号 令和元(2019)年度事業報告(案)について

一部訂正があり、次回に改めて提案。

(4) 議案第 4 号 規程類の改定について

①組織管理運営規程：一部訂正で提案内容については全員一致で承認。規程上の語彙の定義についてガバナンス委員会で検討。

②常務理事会規程：全員一致で承認。

③理事会規程：一部訂正で提案内容については全員一致で承認。

(5) 議案第 5 号 正会員の承認について

福井岳連の前正会員・牧野治生氏の退会と新正会員・山本利幸氏の入会が全員一致で承認。

(6) 議案第 6 号 定時総会について

常務理事会から 8 月 2 日(日)の定時総会は Web 会議で行う提案があり、承認された。常務理事は、一堂に会して質疑に応じる。

(7) 議案第 7 号 LJC の開催について

コロナ禍最初の国内大会として延期していた前年度の LJC を 8 月に盛岡市で開催する提案があり、承認。

予算案を早急に予算委員会、財務委員会と詰め、業務委託契約や見積もりを検討しながら進めることになった。

(8) 議案第 8 号 登山再開に向けてのガイドラインについて

登山医科学委員会からガイドラインの提案があり、最終的に登山部会で確認して公表することが承認された。

3. 報 告

(1) 報告第 1 号 2021 年度スポーツクライミング World Cup 開催について

IFSC から JMSCA 主催でない日本開催を検討してほしいとのこと。6 月末まで返答。

(2) 報告第 2 号 2020 年度 5 月・月次決算報告

相良理事から資料に基づいて報告があった。令和元年度貸借対照表を概算でもよいので報告して頂きたい、との要望あり。

(3) 報告第 3 号 スポーツ団体ガバナンスコードについて

コロナ禍に伴う適合性審査に関する規則の決定とスケジュール変更について報告があった。

(3) 報告第 4 号 第 1 次補正予算案について

補正予算案の概要説明があり、7 月理事会に諮る。監事から監査までに赤字返済の中長期計画の提出と補正予算の補正した事業・補正額等の説明資料を添付することの要望があった。

(5) 報告第 5 号 加盟団体の法人化について

4 月から埼玉県山岳・スポーツクライミ

ング協会が一般社団法人となった。

(6) 報告第 6 号 専門委員会常任委員について

以下承認の報告があった。

①登山指導委員会

主管理事：蛭田伸一、担当理事：古賀英年
委員長：蛭田伸一、副委員長：野村善弥、
常任委員：6 名、廣川厚子、工藤誠志、本郷利夫、平野直子、小畑和人、岡谷良信

②SC 指導委員会

主管理事：六角智之、委員長：藤江理枝、
副委員長：篠崎善信、常任委員：8 名、廣川厚子、有枝樹雄、田中星司、西村良信、早石利枝、奥井健吾、吉田貴子、新井牧子、

(7) 報告第 7 号 山小屋エイド基金について

資料に基づいて、本協会も団体として賛同することが常務理事会で承認された。

(8) 報告第 8 号 収支相償における公益認定等委員会の見解について

JOC から内閣府に問い合わせた回答として、赤字返済については、中長期で収支が均衡する等の具体的な改善計画を法人として適切に説明すれば、公益法人 3 基準の抵触も斟酌されるとの事。

(8) その他

①第 75 回鹿兒島国体に関する情報について

現時点では、鹿兒島県知事が今年度中の開催は難しいと発言をした新聞報道がある。

②委員会の常任委員、専門委員について

現在は、各委員会とも岳連へ推薦依頼は行っていない。

③山岳保険資料について

山岳保険の知見を深めて貰いたい。

④持続可給付金についての申請について

前年同月比で収入が少ない月について

調査した。該当があり、申請する予定。

⑤令和元年度山岳共済会 2019 年度事業報告・決算報告を監事に送付。

⑥山岳スキー日本選手権の件

4 月に開催できなかった山岳スキー日本選手権を来年 3 月に開催できないか検討中。

4. 役員派遣について

(6月11日～7月14日)

(1)東京2020NF協議会 6月16日(火)
尾形専務理事

(2)令和元年度業務・会計監査 7月8日
(水)～9日(木) 於:JMCSA事務局 中
島・古屋監事、尾形専務理事、小野寺常務
理事、相良理事

(3)はだの丹沢クライミングパークオープ
ンセレモニー 6月21日(日)

於:はだの丹沢クライミングパーク 八木
原会長、水村理事

5. 各専門委員会報告

5-1. 遭難対策委員会

5月20日(水) 19:00～21:10 スカイ
ブ会議 参加者18名

ア)今年度の活動および予算変更につ
いて

(1)全国遭難対策委員長会議について

①2020年は中止とする。但し、全国委員長
にはアンケートを配布、

②2021年の全国遭難対策委員長会議は、大阪
で開催予定。

2021年6月26日(土)、27日(日) 大阪
府 サニーストーンホテル予約。

(2)全国山岳遭難対策協議会について

7月6日前後開催の予定で調整してい
たが、現在スポーツ庁はじめ幹事会にて検討
中

(3)山岳レスキュー講習会(無雪期)につ
いて

9月11(金)～13日(日) 開催予定の山岳
レスキュー講習会(無雪期)については、
次回遭難対策委員会議で再度検討。

(4)2020年度活動計画見直しに伴う予算の
見直しについて

全国委員長会議費1,400,000円を0に、
UIAA出張費700,000円を半額の350,000円
に減額し計1,750,000円を減額する。

イ)講習会開催要項の見直し

(1)無雪期および積雪期の開催要項につ
いて見直しを図る。(担当:中丸事務局長、
町田雅美委員)

(2)講習会内容および募集定員について見
直し

無雪期の講習会内容の見直しおよび各

クラスの募集定員の見直し(担当:石田副
委員長) 前回主任講師の井上、松本光顕、
松本善行、山新各委員は、石田副委員長へ
見解を連絡。

ウ)減遭難活動

(1)取り組み方法について

・啓発活動

コロナの影響による登山自粛要請が解
除されるまでは、啓発活動等はできない。

・モデルケースの山を決めて取り組む場合
省庁、行政を巻き込んで行わなければ実
現は難しい。

・東京都岳連内で環境省等への面識がない
か確認する。(榎委員)

・山梨県警で県内の登山道整備を行うとの
情報が有り、内容の聞き取り(安藤委員)

・登山自粛要請中のため、この時期に大阪
府内の消防署等に名刺を配りに回りたい。

(青山委員)

・コロナ対策で忙しい今の時期に消防署等
を尋ねるのは如何なものか。(石田副委員
長)

(2)モデルケース候補の山

関西:六甲山

関東:奥多摩や丹沢が挙げられるが、東京
都および神奈川県は、現在「緊急事態措置
中」である。

(3)今後の活動

関東4県(東京、神奈川、埼玉、千葉)
の緊急事態措置解除の時期は不透明のため、
まずは関西の活動をどうするか計画を
策定中。

6. 会務・役員派遣

(4月9日～6月9日)

(1)JOC夏季五輪競技団体Web会議 4月

9日(木) 尾形専務理事

(2)IFSC Web会議 4月14日(火) 平山・
丸副会長、水村理事

(3)緊急事態宣言を受けて山岳4団体登山
自粛声明文を發出

(4)ACC Web会議 4月22日(火) 平山
副会長、水村理事

(5)『JMCSA Magazine』編集会議(Web) 4
月23日(木) 尾形専務理事、合田常務

理事

(6)令和元年度収支決算確認(公認会計士)

4月30日(木)～5月1日(金)

(7)IFSC Web会議 5月7日(木) 平山・
丸副会長、水村理事

(8)常務理事会・理事会(Web会議) 5月
14日(木) 八木原会長他

(9)登山部会(Web会議) 5月14日(木)
水島常務理事他

(10)SC部会(Web会議) 5月20日(水)
合田常務理事他

(11)緊急事態宣言全面解除を受けて山岳4
団体登山自粛解除声明文を發出 5月26日
(火)

(12)オンラインNF協議会 6月5日(金)
尾形専務理事